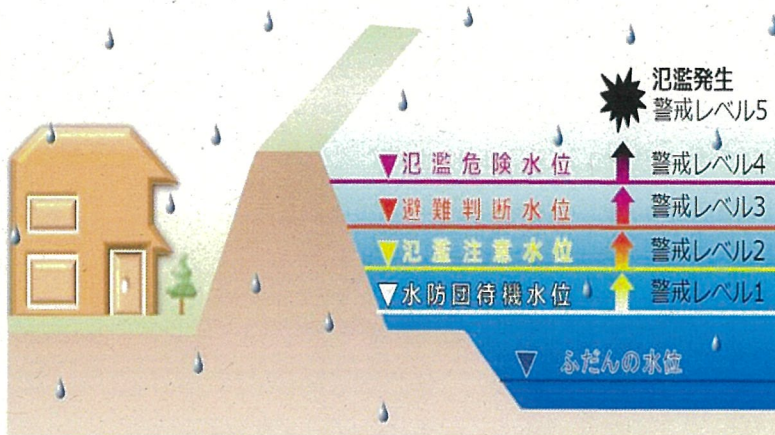


ホットラインについて

① ホットライン (電話)

ホットラインによる伝達イメージ



- ・【警戒レベル4相当】鬼怒川氾濫危険情報を発出しますので、詳細の情報はそちらをご確認ください。
 - ・鬼怒川の国道50号新川島橋（しんかわしまばし）下流にある川島水位観測所では、避難指示の目安となる氾濫危険水位に達します。
 - ・堤防決壊などによる氾濫の恐れがありますので、避難に関する情報の発信をお願いします。
-
- ・【警戒レベル4相当】鬼怒川氾濫危険情報を発出しますので、詳細の情報はそちらをご確認ください。
 - ・鬼怒川の国道50号新川島橋（しんかわしまばし）下流にある川島水位観測所では、現時点で氾濫危険水位に達していませんが、今後、急激に水位上昇し、3時間以内に氾濫する可能性のある水位に達する見込みです。
 - ・堤防決壊などによる氾濫の恐れがありますので、避難に関する情報の発信をお願いします。

洪水予報の発表基準となる 河川水位及び警戒レベル

ホットラインのタイミング



【レベル4】 氾濫危険水位

市町村長による避難指示の発令判断の目安であり、住民の避難判断の参考になる水位。

下館河川事務所 **事務所長** (電話連絡 (携帯)) **ホットライン** → **市町長** (自治体)

【レベル3】 避難判断水位

市町村長による避難準備・高齢者等避難開始の発令判断の目安であり、住民のはん濫に関する情報への注意喚起になる水位。

下館河川事務所 **副所長** (電話連絡 (携帯)) → **担当部長等** (自治体)

【レベル2】 氾濫注意水位

のり崩れ、洗掘、漏水などの災害が発生する危険性がある水位。水防団が出動して河川の警戒にあたる水位。

下館河川事務所 **建設専門官** (電話連絡 (携帯)) → **担当課長等** (自治体)

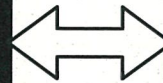
【レベル1】 水防団待機水位

水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位。

② ホットライン (WEB)

■ WEBホットライン訓練

▽ WEB会議ツールを用いたホットラインの試行 (令和3年8月26日)



【良かった点】

- 流域市町で統一された情報共有、共通認識が図れる
- 上流で発生した想定外の事態等の把握が可能となり、下流で起こりうる事態の想定が可能
- WEBで行うことで複数の職員で情報を共有できる
- 場所を問わず参加可能
- 下館河川及び流域の市町が顔を合わせて情報を共有できる

【課題等】

- 出水時にWeb対応できる職員、PC等機材の確保
- 警戒レベル3、4の状況では、国河川の前に中小河川の対応に追われていることが想定されるため、WEB会議を用いたホットライン時には首長・部長・課長クラスは参加できない可能性がある。

③ トップセミナー

■ 事務所長から首長へ、対面にて防災情報等を説明・共有

- ・洪水予報、水防警報関係
- ・重要水防箇所、個別対応箇所
- ・情報連絡体制 等々